



●保 管 用

UB18V シリーズ 専用電池パック

18Vリチウムイオン電池パック

UB18VBP15

UB18VBP25 兼用

UB18VBP50



UBERMANN シリーズ
UB18VCG 専用充電器対応

取扱説明書

もくじ

安全上のご注意	1~4
各部のなまえとはたらき	5~6
別売品のご案内	7
電池パックを充電する	8~14
ご使用前の準備	
充電器を壁に取付けて使用する	15~17
ご使用方法	18
電池パック・充電器について	19
お手入れ・保管	20
仕様	21
修理について	22

別売品

18V 専用充電器

UB18VCG6A



○このたびはUBERMANN製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

○この取扱説明書をよくお読みの上、十分ご理解いただいて正しく安全にお使いください。

○ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

安全上のご注意 必ずお守りください。

● いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
※表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危険や、傷害の程度を次の表示で区分し説明しています。

 危険	「人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容」です。
 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
 注意	「人が障害を負う可能性及び物質・財産の損害が発生する内容」です。

※なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重大な内容を記載しているので、必ず守ってください。

※お守りいただく内容を下記の図記号で表しています。

 禁止	してはいけない内容です。
 実行	しなければならない内容です。

危険

 禁止	<ul style="list-style-type: none">● 電池パックは、火中への投入、加熱はしないでください。● 電池パックは接続端子部を金属などで接続させないでください。● 電池パックを釘、ネジなどの金属と一緒に持ち運んだり保管はしないでください。 ※接続端子間で短絡(ショート)して発熱・発火・破裂のおそれがあります。● 電池パックに釘、ネジなどを刺したり、衝撃を与えたリ分解、改造はしないでください。● 電池パックを火のそばや、炎天下など高温の場所での保管、使用、放置をしないでください。● 当社充電工具専用の指定の充電式電池パック以外を使用しないでください。また改造した電池パックや分解して内蔵部品を交換した電池パック等も使用しないでください。● 劣化した電池パックは使用しないでください。発熱、発火、破裂のおそれがあります。
-----------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 危険



- UBERMANN電池パック18Vは専用充電器【UB18VCG6A】以外では充電しないでください。
※電池の液漏れ、発熱・発火・破裂や充電器の故障の原因になります。
- 本機に電池パックを差し込む前に、使用する本機のスイッチが切れている(OFF)ことを確認してください。
※スイッチが入っていて(ON)位置にあるときは電池パックを差し込むと事故の原因になります。
- 作業後取外した電池パック単体状態のときは、電池パック安全カバーを必ず取付けてください。
- 使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しないでください。お買い上げ販売店まで持参ください。
※家庭用一般ごみとして棄てないでください。



- 本体や充電器から外した電池パックは、電池接続端子に雨水や金属などの電気が導通するものを触れさせないでください。
※電池端子が短絡して発火のおそれがあります。
- 電池パックを長期に(3~4ヶ月間)使用しないときは満充電で保管してください。
- 電池パックを充電するときは、濡れた手や、雨水が付着していないようにしてください。
- 電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらず、以下の処理をしてください。
※液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、直ぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
※液が身体や衣服に付くと、皮膚の炎症や、けがの原因になるので、きれいな水で十分洗い流したあと、医師にご相談ください。
※液漏れした電池パックは、使用を中止し、火に近づけないようしてください。直ぐに販売店にご用命ください。

安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

❗ 実行	<ul style="list-style-type: none">●電池パック専用の純正安全カバーを取付けて保管・収納してください。 ※守らないと漏電・発火・おそれがあります。●UBERMANNブランド18V専用充電器・本機以外の取付けには使用しないでください。 ※事故、けが、故障の原因になります。●充電器の電源コードやプラグを破損するようなことはしないでください。 ※きず、破損、加工、無理な曲げ、ねじれ、引っ張り、挟み込む、束ねる、熱器具に近づけたりしないでください。傷んだまま使用すると感電、ショート、火災の原因になります。コードやプラグは定期的に点検し、破損している場合は販売店にご相談ください。●換気の良くない場所での充電はしないでください。●充電中、充電器や電池パックを布やダンボール等で覆わないでください。●直流電源やエンジン発電機、変圧器で充電器を使用しないでください。●可燃性の液体やガスのある場所で使用したり充電したりしないでください。 ※発熱、発煙、破裂のおそれがあります。●改造や分解修理をしないでください。 ※火災、感電、けがのおそれがあります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。●雨中や、湿ったまたはぬれた場所で、使用したり充電したりしないでください。 ※感電や発煙のおそれがあります。●ぬれた手で電源プラグをコンセントから抜き差ししないでください。また充電器や電池パックもさわらないでください。 ※感電のおそれがあります。●充電終了後は必ず専用充電器から電池パックを外し、満充電後充電器に放置しないでください。●指定された用途以外には使用しないでください。 ※けがや事故のおそれがあります。
🚫 禁止	

安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 注意

🚫 禁止

- モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
過酷な過負荷作業はしないでください。
※発煙、発火のおそれがあります。安全に能率よく作業をするため、能力にあった速さで作業をおこなってください。
- 本機を、40度以上になる場所に保管はしないでください。
※動作異常のおそれがあります。
- 子供など作業者以外を作業場に近づけたり、電池パックや充電器に触れさせたりしないでください。
※けがのおそれがあります。
- 作業中にパワーが落ちたと思ったら作業を中止し充電をしてください。ないと電池が短命になります。
※リチウムイオン電池は過放電状態を招くと、充放電が出来なくなります。
- リチウムイオン電池は衝撃と熱に弱いので、落下衝撃や車などの高温になる場所に保管、また炎天下に放置しないでください。
※充放電ができなくなります。

❗ 実行

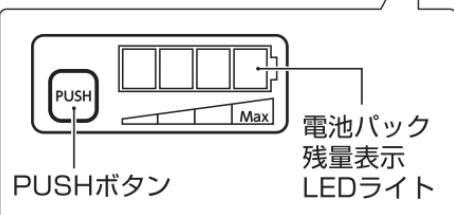
- 使用前に、本体、電池パック、充電器、その他の部品に損傷がないことを確認してください。
※守らないと破損などによりけがをするおそれがあります。
- 作業をする場所はきれいに保ってください。
※散らかった場所や部材が散乱していると事故の原因になります。
- 取扱説明書をよく読んで作業方法をよく理解し、周りの状況などを十分注意して、作業をしてください。
※守らないと、事故やけがのおそれがあります。
- 使用直後の電池パックは放電後熱くなっていますので、充電するときは電池を冷ましてから充電をおこなってください。電池温度が高いと充電器は充電を開始できません。
※充電器は複数の電池パックにわたる連続作業はしないでください。
- 電池パック取付は、使用本機に最後までスライドさせ、カチッと音がしてはずれないことを必ず確認し作業をしてください。
※守らないと電池の落下や事故の原因になります。

各部のなまえとはたらき

18V 電池パック (P-7 参照)

【UB18VBP15】
【UB18VBP25】
【UB18VBP50】

取外しラッチ部



- 電池パックは全て残量表示LEDライト付
- PUSHボタンで電池電圧が一目で分かる機能付

別売品：専用充電器 【UB18VCG6A】



◆USB出力端子は電池パック充電と単独での出力が可能。

◆USB出力端子5V2A仕様。

○大型LED表示・充電開始及び満充電完了時に電子音機能搭載。

各部のなまえとはたらき

付属品・別売品

商品名	付属品数	別売品・品番
本体 	セット品 1個 UB18VBP15/25/50	UB18VBP15(別売品有) UB18VBP25(別売品有) UB18VBP50(別売品有)
電池パックカバー 	セット品 1個	UB18VPSF1550 (別売品有)
取扱説明書	セット品 1冊	

別売品のご案内

UBERMANNシリーズ 専用充電器

○急速充電器 品番: UB18VCG6A

●作動されるときは、上記いずれかの電池パック及び専用充電器をお買い求めいただきご使用ください。



お知らせ

●充電器の充電時間が異なりますのでご承知ください。

充電器UB18VCG6A	電池パック	充電時間(約) 使用後冷ました 電池パック	UBシリーズ
//	UB18VBP15	約30分	18V全種 使用可能
//	UB18VBP25	約45分	
//	UB18VBP50	約70分	

電池パックを充電する

充電器充電表示ライトの見かた【UB18VCG6A】

ライト表示	表示内容	参照
赤 赤点灯	通電状態 赤 点灯(電源に差し込んだ状態です)通電表示。	
緑 緑点滅	充電開始時 緑 点滅 電池パックを差し込むと『ピッピッピッ』と電子ブザーが鳴り、冷却用ファンが始動します。通常充電。 充電中 緑 点滅	P.12 ～13
緑 緑点灯	充電完了 緑 点灯 電子ブザーが『ピッピッピッ』と鳴る。緑点灯の充電完了(目安)時間は、電池の種類により異なります。 UB18VBP50=約70分、UB18VBP25=約35分、UB18VBP15=約30分	
黄 黄点灯	冷却中 黄 点灯 ①電池パックが高温です。冷却後自動的に充電開始。 ②電池パックが氷点下です。 ※電池パック自体が約0℃以上になると自動充電開始。 電池パック自体を少し温めてから再度充電を行ってください。	
(異常時のライト表示及び表示内容)		
赤 赤点滅	電池故障の場合 赤 点滅 ※新品電池パックをお買い求めください。	

冷却用自動ファンについて

- 充電を開始すると自動でファンが作動します。
- 電池パック自体温度が氷点下にあるときは、充電器に差し込むと冷却ファンも同時に作動しますので、充電開始になりません。充電目安として、充電器の環境温度が20℃ならば電池パックを約30分以上経過してから充電器に差し込んで充電を行ってください。

電子ブザーの鳴るタイミング

- 電池パックが正常の場合、充電器に差し込んだ充電開始時に[ピッピッピッ]と約4秒間鳴ります。【緑点滅】
- 充電が完了すると充電表示ライトが「緑」の点灯になります。同時に電子ブザーの[ピッピッピッ]の音が約4秒鳴ります。

電池パックを充電する

充電の前に

- 充電器は0～40°Cの場所に設置し、充電する場所の温度に近い電池パックを充電してください。
(充電する場所との温度差が15°C以内が良い。)
- 電池パックの温度が0°C以下または充電する場所の温度差が大きい場合は十分に充電できない場合があります。その場で長い時間(1時間以上)放置してから充電してください。
(電池パックの表面温度と電池パック内部の温度差があるため)

! 実行

- 電池パックを2個連続で充電を行う時は、充電を約30分以上休止し、充電器の温度が下がってから充電をしてください。
- 充電器はホコリの多い場所や、水や雨にかかる場所で使用しないでください。故障の原因になります。

お知らせ

- この説明書に記載の温度は目安です。実際には条件により、多少のずれが生じる場合があります。

電池パックを充電する

冷却システムについて

- ①電池パックの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンにより電池パックを効率良く冷却するシステムです。冷却ファン吸引口は送風の音がしますが故障ではありません。
- ②冷却ファンが故障したり、充電器や電池パックのゴミ詰まりによって冷却不足となった場合、「黄」のライトが点灯し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行いますが、充電時間が長くなることがあります。
このようなときは、充電器、電池パックの通気口がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
- ③充電中、送風の音がない場合がありますが、「黄」のライトが点灯していないければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
※充電器、電池パックの通気口をふさがないでください。
※頻繁に「黄」のライトが点灯するようなときは、点検・修理を販売店にお申し付けください。
- ④充電完了後冷却ファンは同時に止まりません。充電環境温度にもよりますが、満充電電池状態では電池パック自体の温度が上がっているので、ファンは止まりませんが、温度が下がれば自動で冷却ファンは停止します。充電完了同時には止まりませんが故障ではありません。



①充電器本体



②冷却ファンの通気口
(充電器の裏側)



③電池パックの通気口
(電池パック上部)

電池パックを充電する

電池パック残量表示LEDライトの見かた

【UB18VBP15】【UB18VBP25】【UB18VBP50】

- 電池パックLED正面左の残量確認ボタンを押すと使用前、中、後の電池残量が確認できます。

電池パックLED表示	電池電圧残量目安	充電指示状況
点灯	75%～99%	作業良好・保管可能
点灯	50%～75%	作業可
点灯	25%～50%	充電をしてください
点滅	0%～25%	作業中止・充電をしてください

- 電池残量表示LEDライトが1灯点滅のまま作動を続けると、電池パック自体が充放電しなくなり使用できなくなります。過放電状態といいます。

⚠ 注意

- 電池パックの表示LED点灯数は利用状況や気温などによって実際の表示残量と異なる場合がありますので、目安として参考にしてください。
- 作業開始前後瞬間でもLED残量表示が異なることがありますので、作業前には満充電状態から使用されることを望みます。

電池パックを充電する

充電のしかた

- 1 充電器の電源プラグを100Vの電源コンセントに差し込んでください。
充電表示ライトは「赤」の点灯になります。



- 2 電池パックを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。
充電器の端子保護カバーは指で持ち上げるか、電池パック挿入に伴い、ゆっくりと開閉することもできます。



電池パックを充電する

③

①電池パックを挿入すると充電表示ライトが「緑」に点滅し、「ピッピッピッピッ」充電開始電子ブザーが短時間流れ、充電を開始します。

②充電が完了すると「緑」の点灯に変わり、充電完了電子ブザーが鳴ります。そのまま電池パックを挿入しておけば冷却します。

※充電時間は周囲温度(10°C~40°C)や電池パックの状態(新品・長期保存電池パックや寿命に近い電池パックなど)により変動します。

③充電完了後すぐに使用しない場合は、電池パックの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。冷却時間は約1時間です。

④電池パックを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。

LED表示ライト

① 緑 +ピッピッピッ…
緑点滅 数秒

② 緑 +ピッピッピッ…
緑点灯 数秒



電池パックを充電する

USB 電源端子への接続

⚠ 注意

- 本機充電器は、様々なUSB機器の外部電源としても使用することができます。
(最大出力電流は5V2A)
次の注意事項をお読みの上、正しくお使いください。

- 本機充電器は、専用電池パックを充電しながらでも、USB電源の利用が可能です。
- 万一の場合に備えて、ご使用になるUSB機器の内部データを必ず事前にバックアップしてください。
※接続したUSB機器の内部データが(予測できない問題により)破損・消失する可能性があります。
- USB機器の種類によっては、動作しない、または充電できない機種があります。
- 5V2Aを超える出力電流を必要とするUSB機器は、充電器に接続しないでください。
USB電源端子の最大出力電流は、5V2Aです。
※使用接続機器や本機故障の原因になるおそれがあります。
- 充電器との接続には、USB機器付属のUSBケーブルをご使用ください。
【市販品をお買い求めください。】
- 使用後は充電器正面のUSBゴムカバーを戻してください。
※USBゴムカバーが開いていると充電器内部に水滴やホコリが侵入し、充電器の故障につながります。

【使用手順】

- ① 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。
- ② 本体正面のカバーをはずして、USBケーブルでUSB機器と充電器を接続してください。
【市販品】
- ③ 使用後は、USB機器、USBケーブルを取り外し、カバーを戻してください。
- ④ 電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。



ご使用前の準備 充電器を壁に取付けて使用する

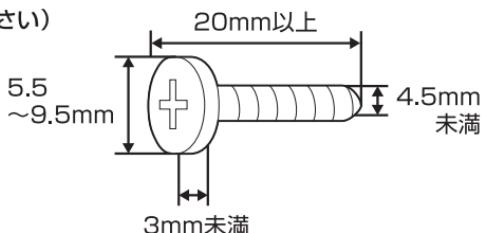
△ 注意

- 壁に取付けて使用する場合は、必ず吊り下げ用ネジ2本で本機の裏面のネジ穴に確実に吊り下げてください。
※落下して破損したり、けがの原因になります。
- 充電器の取付け作業をするときは、電池パックを抜き取り、電源プラグをコンセントから抜いた状態で設置してください。
- 充電器を壁に取付け後は、電池を抜き取るときに充電器が落下することがありますので、必ず充電器上部に固定ネジを打ち込んで、充電器が外れないようにしてください。
- 壁に取付ける場合は、充電器の重さに電池パックの重さが加わり約1.5kgになりますので、取付ける場所が耐荷重に耐えられるか確認し、不足の場合は取付け場所を十分補強してください。
- 壁掛けした充電器に電池パックを充電したり、取外しの際は動作を途中でやめないでください。電池パックが落下したり、充電器が壁より外れたりして危険です。
- 壁取付けのネジは定期的に緩んでいないか、しっかりと固定されているか確認してください。

充電器の壁掛けの準備

1)用意するもの(市販品でご用意ください)

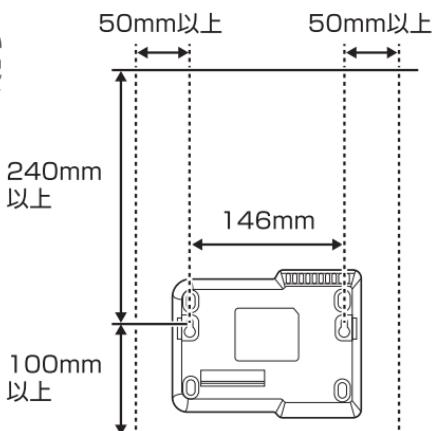
- ①木ネジ(吊り下げ用)
4mm×20mm以上=2本
- ②木ネジ(充電器固定ネジ)
4mm×30mm以上



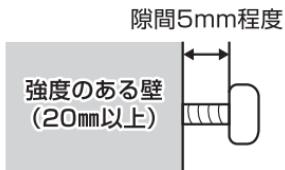
ご使用前の準備 充電器を壁に取付けて使用する

2)吊り下げ用ネジの取付け

①取付けの壁面が凹凸等の障害物がないこと、また壁内や裏に電気配線や通信配線、ガスの配管等がないことを確認してください。



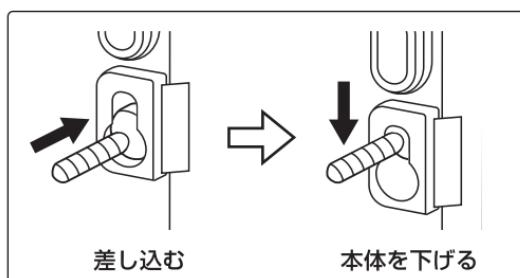
②充電器の他電池パックを差し込んでもネジが抜けない強度のある壁面に取付けてください。



3)充電器の取付け

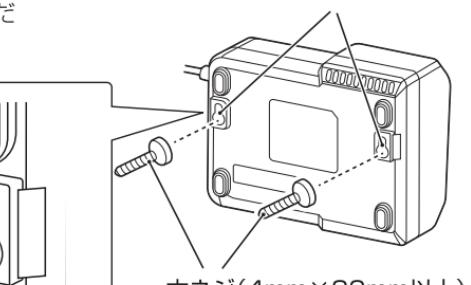
吊り下げ用ネジに本機充電器裏面のネジ穴を2ヶ所あわせて、ネジが穴に入った後に引っ掛けて充電器を下に下げてください。4mm×20mm以上ネジ

*壁面ネジ2個と充電器ネジ穴2個が、引っ掛かっていることを確認してください。



【充電器裏側】

吊り下げ用ネジ穴



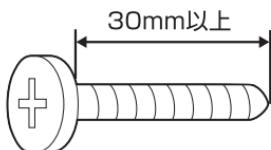
ご使用前の準備 充電器を壁に取付けて使用する

4)充電器を固定する

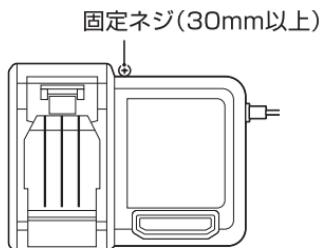
充電器がより安全に壁面に固定、保持できるように固定用ネジを図のように締め込んでください。

※本機を破損させないようにネジを打ち込んでください。(市販品ネジ)

使用例 4mm×30mm以上ネジ



【充電器表側】



5)充電器の日常点検

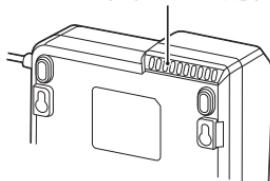
①日頃から安全に効率よくお使いいただるために日常定期点検を行ってください。

②充電接続端子等のゴミやホコリの撤去をする。

柔らかいブラシでまたはエアーダスターなどを使用して清掃してください。

③冷却ファン吸引口は常にゴミやホコリを避けて使用してください。

冷却ファン吸引口



6)保管について

- 子供の手の届かない場所、鍵の掛かる場所に保管してください。
- 湿度の高い場所や温度が急変する場所に保管はしないでください。
- 雨水の掛かる場所は絶対に避けて保管してください。
- 直射日光の当たる場所での保管はしないでください。
- 揮発性物質に近い場所に保管しないでください。

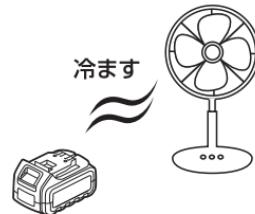
ご使用方法

電池パックの保護機能

18V充電式製品を使用中、下記状態になりますとモーターが自動停止しますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

●18V充電式製品および電池パックの温度が高温になるとモーターが自動停止します。

- 18V充電式製品が熱くもなく突然自動停止した時は、電池パックの電池残量が低下し過放電保護装置が働いて停止もします。その場合は直ちに充電を行ってください。
- 使用を中断して18V充電式製品より電池パックを取りはずし、冷却ファンつきの充電器で充電および冷却をしてください。
- 電池パックを冷ましても18V充電式製品が動作しない場合は、18V充電式製品を冷ましてください。



●電池パックの容量が少なくなるとモーターが自動停止します。故障ではありません。

- 18V充電式製品より電池パックを取りはずし、電池パックを充電してください。
- 電池自体にも電圧残量表示で確認ができます。PUSHボタンを押す。
→LEDライト1個点灯またはLEDライト1個が点滅になります。



[PUSHボタンを押すと]

●電池残量表示LEDも1灯点滅します。

※この状態で作業すると電池パック自体が充放電しなくなり使用できなくなります。過放電状態といいます。作業は中止し、直ぐに充電を行ってください。

●18V充電式製品が過負荷状態になるとモーターが自動停止します。

- いったんスイッチを放し、18V充電式製品より電池パックを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。

電池パック・充電器について

電池パックについて

- 下記の状態となった場合、特に電池パック寿命が低下しやすい状況にあるため、充電中に「黄」のライトが点灯して充電時間が長くなることがあります。
 - ・高温充電の繰り返し……連続作業後の放電による熱い電池パック充電など。
 - ・低温充電の繰り返し……0°C以下からの急な充電など。
 - ・満充電電池パックの再充電の繰り返し
 - ・過放電の繰り返し(過放電とは工具の力が弱くなてもさらに使用する状態です。)

電池パックを長持ちさせるには

- 工具の力が弱くなってきたと感じたら作業を中止して、充電してください。
- 満充電した電池パックを再度充電しないでください。
- 充電は周囲温度10°C～40°Cの範囲で行ってください。
- 使用直後などの熱くなった電池パックは、充電器に差し込む前に冷却してから充電することをおすすめします。
- 長期間(6ヶ月以上)ご使用にならない場合、リチウムイオン電池パックは満充電してから保管することをおすすめします。
- 冬期間の0°C以下の電池は直ぐに充電せず、少し温めてから充電することをおすすめします。

電池パックのリサイクルについて

- リチウムイオン電池はリサイクル可能な資源です。廃棄の際は下記の手順を参考にして販売店にお持ちください。
- 電池パックの接続端子をショートさせないように、電池安全カバーを付けるか、テープ等で絶縁をする。電池パックは最寄りの販売店カリサイクル協力店にお持ちください。



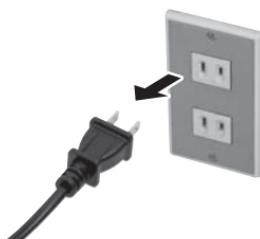
お手入れ・保管

⚠ 警告

- 保守、点検、部品交換などのお手入れ前には、必ず電池パックを18V充電式製品より取外して行ってください。
※不意に作動してけがのおそれがあります。
- 日頃の点検をおこない、保管場所が40°C以上になる場所での保管はしないでください。
※電池の寿命を損ねたり、使用できなくなることがあります。
- 電池パック・充電器は、各部部品を子供の手の届かない場所に置いてください。
※子供が間違って使用したり、飲み込んだりして事故やけがのおそれがあります。

お手入れのしかた

- 充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- やわらかい布でふく、濡れた布や、シンナー・アルコール・ベンジンなどの揮発性のものは使用しない。
- ネジの緩みがないか確認する。緩みがある場合は、締め直してください。
※ネジの締め過ぎ、付属品等の無理な押し込み、収納は破損のおそれがあります。
- 油汚れなどを拭き取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石鹼水を付けた布をかたくしぱってからふいてください。
※防塵・防水ではありませんので、ゴミ・ホコリ・雨水等を侵入させないでください。
- 充電器の通風口をやわらかいブラシ等で軽くゴミを取り除く。
- 充電器や電池パックの接続端子のゴミをやわらかいブラシ等で取り除いてください。



保管のしかた

以下の条件を避けて保管してください。

- 車中などの高温になる場所。 ●直射日光の当たる場所。 ●子供の手の届く場所。
- ゴミやホコリの多い場所。 ●ガソリン・揮発性の高い引火物が有る場所。

仕様

●1.5Ah電池パック UB18VBP15

本機寸法(約)	長さ118.5×幅76.4×高さ53.5mm
質量(約)	0.39Kg

●2.5Ah電池パック UB18VBP25

本機寸法(約)	長さ118.5×幅76.4×高さ53.5mm
質量(約)	0.39Kg

●5.0Ah電池パック UB18VBP50

本機寸法(約)	長さ119.9×幅76.5×高さ68.7mm
質量(約)	0.65Kg

改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

充電器UB18VCG6A	電池パック	充電時間(約) 使用後冷ました 電池パック	UBシリーズ
//	UB18VBP15	約30分	18V全種 使用可能
//	UB18VBP25	約45分	
//	UB18VBP50	約70分	

別売品仕様

●6A充電器 UB18VCG6A

入力電圧	単相交流100-120V			
入力周波数	50-60Hz			
入力容量	160W			
電池パック充電端子	出力電圧	DC21V	出力電流	DC6A
USB電源端子	出力電圧	DC5V	出力電流	DC2A
	端子形状 USB A型			
本機寸法(約)	長さ179.3×幅142.7×高さ94.9mm			
質量(約)	0.84Kg			

修理について

⚠ 警告

- 保守、点検の際は、必ず電池パックを18V充電式製品より取外してください。
※電池パックを取付けたまま行うと、不意に作動して事故の原因になります。
- 修理の際は、自分で分解・修理しないで、必ずお買い上げの販売店にお申し出ください。

修理料金の仕組み

- 修理料金：基本料(修理検知)有料(商品によって異なります)
- 技術料：有料⇒診断・故障場所・修理・調整・修理後の点検作業、その他にかかる手間代、費用。
- 部品代：有料⇒修理に使用した部品・及びその他補助材料代です。

販売元

株式会社コメリ

新潟県新潟市南区清水4501-1

お客様問合せ窓口：Tel.025-371-4805

